

# 2012年3月期第1四半期決算

2011年7月27日

株式会社 野村総合研究所



# 第1四半期 連結決算ハイライト

(百万円)

	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	80,650	78,465	△2,184	△2.7%
営業利益	6,560	8,641	+2,080	+31.7%
営業利益率	8.1%	11.0%	+2.9P	
経常利益	7,502	9,552	+2,049	+27.3%
四半期純利益	4,082	12,881	+8,799	+215.6%

# セグメント別外部連結売上高

(百万円)

	2011年3月期 第1四半期	構成比	2012年3月期 第1四半期	構成比	増減額	増減率
コンサルティング	3,788	4.7%	4,314	5.5%	+526	+13.9%
金融ITソリューション	49,666	61.6%	47,747	60.9%	△1,918	△3.9%
証券業	23,144	28.7%	23,080	29.4%	△64	△0.3%
保険業	13,797	17.1%	14,092	18.0%	+294	+2.1%
銀行業	7,354	9.1%	5,470	7.0%	△1,884	△25.6%
その他金融業等	5,369	6.7%	5,104	6.5%	△264	△4.9%
産業ITソリューション	21,131	26.2%	21,417	27.3%	+286	+1.4%
流通業	10,611	13.2%	10,528	13.4%	△82	△0.8%
製造・サービス業等	10,519	13.0%	10,888	13.9%	+369	+3.5%
IT基盤サービス	3,879	4.8%	2,984	3.8%	△895	△23.1%
その他	2,184	2.7%	2,001	2.6%	△183	△8.4%
合計	80,650	100.0%	78,465	100.0%	△2,184	△2.7%
野村ホールディングス	19,155	23.8%	18,487	23.6%	△668	△3.5%
セブン&アイ・ホールディングス	10,610	13.2%	9,611	12.2%	△998	△9.4%

(注)野村ホールディングスおよびセブン&アイ・ホールディングス向け売上高は、それぞれの子会社向け売上高を含む  
この資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。  
Copyright(C) 2011 Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

# 主なセグメント別損益

■各セグメントは内部売上高を含む

(百万円)

		2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	増減額	増減率
コンサルティング	売上高	3,810	4,328	+518	+13.6%
	営業利益	△732	△101	+631	-
	営業利益率	△19.2%	△2.3%	+16.9P	
金融ITソリューション	売上高	49,682	47,764	△1,917	△3.9%
	営業利益	3,740	5,100	1,359	+36.3%
	営業利益率	7.5%	10.7%	+3.1P	
産業ITソリューション	売上高	22,181	22,586	+405	+1.8%
	営業利益	153	638	+485	-
	営業利益率	0.7%	2.8%	+2.1P	
IT基盤サービス	売上高	20,012	18,168	△1,843	△9.2%
	営業利益	2,631	2,470	△160	△6.1%
	営業利益率	13.1%	13.6%	+0.5P	

# サービス別連結売上高

(百万円)

	2011年3月期 第1四半期	構成比	2012年3月期 第1四半期	構成比	増減額	増減率
コンサルティングサービス	6,517	8.1%	8,709	11.1%	+2,192	+33.6%
開発・製品販売	29,862	37.0%	27,706	35.3%	△2,155	△7.2%
運用サービス	42,272	52.4%	40,350	51.4%	△1,922	△4.5%
商品販売	1,998	2.5%	1,699	2.2%	△299	△15.0%
合計	80,650	100.0%	78,465	100.0%	△2,184	△2.7%

# 2012年3月期第1四半期 連結決算のポイント

## ●売上高は△2.7%の減収。想定と大きな乖離なし

1. 減収の主要因は、金融ITソリューション(銀行業)と、IT基盤サービス
2. 証券業向け売上高は横ばいだが、主要顧客の大型プロジェクトは予定通りに進捗

## ●収益性の改善により、+31.7%の営業増益 加えて、特別利益の発生で、四半期純利益は大幅増益

1. 金融ITソリューション、産業ITソリューション、IT基盤サービス等の主要セグメントにおいて、前年同期比で営業利益率が改善
2. 1Qに、関係会社株式売却益、特別配当などの特別利益が発生

## ●受注残高は前年同期比で実質増加。震災後の影響も限定的

1. 1Q受注残高は前年同期比で実質増加。震災の影響により一部動きが遅くなっていたが、引き合いや相談等増え始めている。
2. 電力不足による節電対応などのコストは小規模にとどまった

# 連結P/Lハイライト

(百万円)

	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	増減額	増減率
<b>売上高</b>	80,650	78,465	△2,184	△2.7%
<b>売上原価</b>	60,041	55,689	△4,351	△7.2%
<b>外注費</b>	24,920	25,129	+208	+0.8%
<b>売上総利益</b>	20,609	22,776	+2,167	+10.5%
<b>売上総利益率</b>	25.6%	29.0%	+3.5P	
<b>販管費</b>	14,048	14,135	+86	+0.6%
<b>営業利益</b>	6,560	8,641	+2,080	+31.7%
<b>営業利益率</b>	8.1%	11.0%	+2.9P	

# 連結P/Lハイライト 続き

(百万円)

	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	増減額	増減率
<b>営業利益</b>	6,560	8,641	+2,080	+31.7%
営業外損益	942	911	△30	
受取配当金	946	830	△115	
持分法による投資損失	△41	-	+41	
<b>経常利益</b>	7,502	9,552	+2,049	+27.3%
特別損益	△317	11,221	+11,538	
関係会社株式売却益	-	8,564	+8,564	
特別配当金	-	3,010	+3,010	
法人税等	3,101	7,892	+4,790	
<b>四半期純利益</b>	4,082	12,881	+8,799	+215.6%



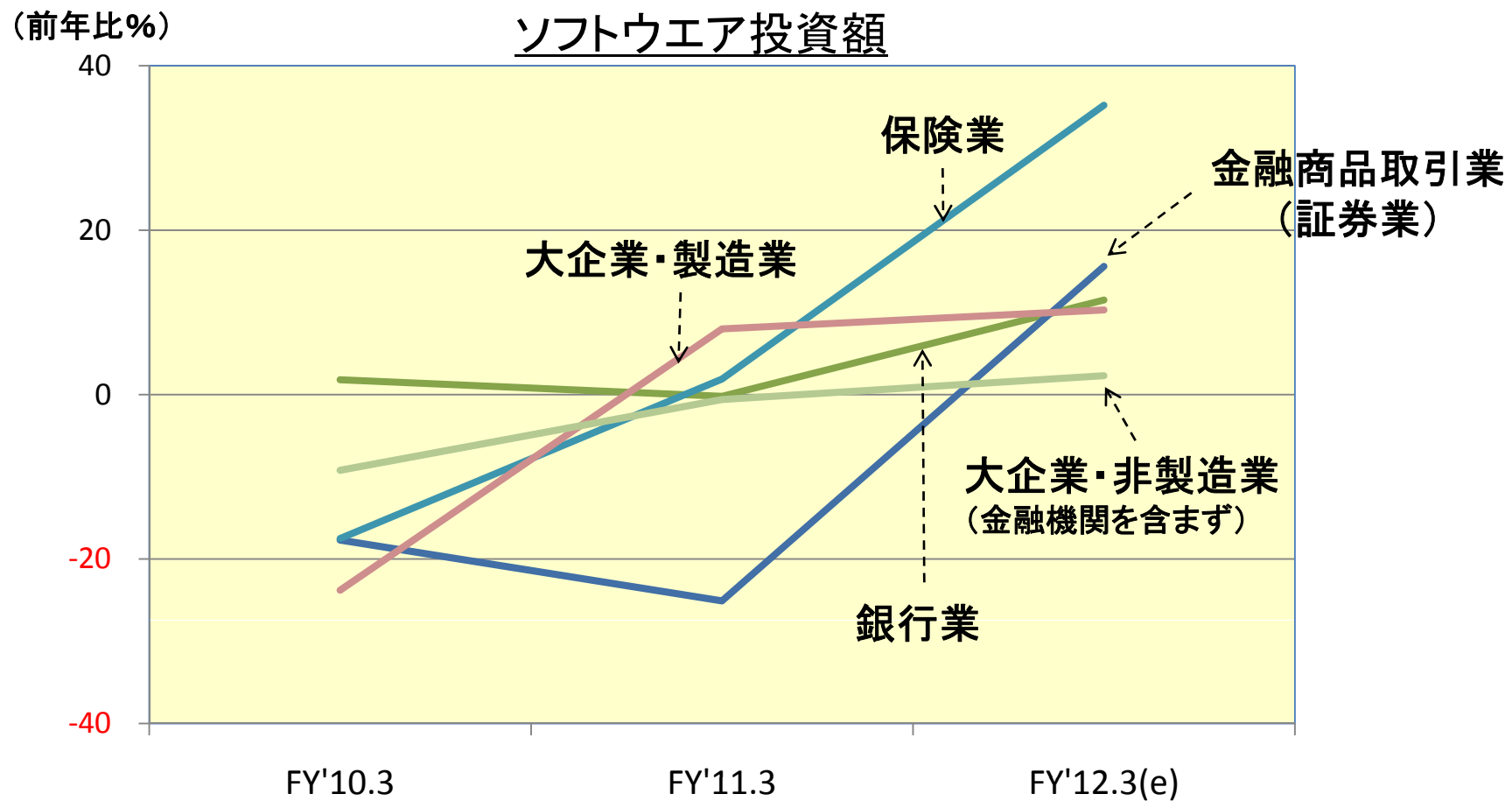
# セグメント別外部連結受注残高

(百万円)

	2010年6月末	2011年6月末	増減額	増減率
コンサルティング	4,364	5,091	+727	+16.7%
金融ITソリューション	103,292	97,817	△5,475	△5.3%
産業ITソリューション	42,984	42,563	△420	△1.0%
IT基盤サービス	8,037	6,556	△1,480	△18.4%
その他	3,382	3,298	△84	△2.5%
合計	162,061	155,327	△6,734	△4.2%
うち、期中分	161,108	153,678	△7,429	△4.6%

# 経営環境認識

➤ 日銀短観の今年度のソフトウェア投資額(計画)は、増加基調へ

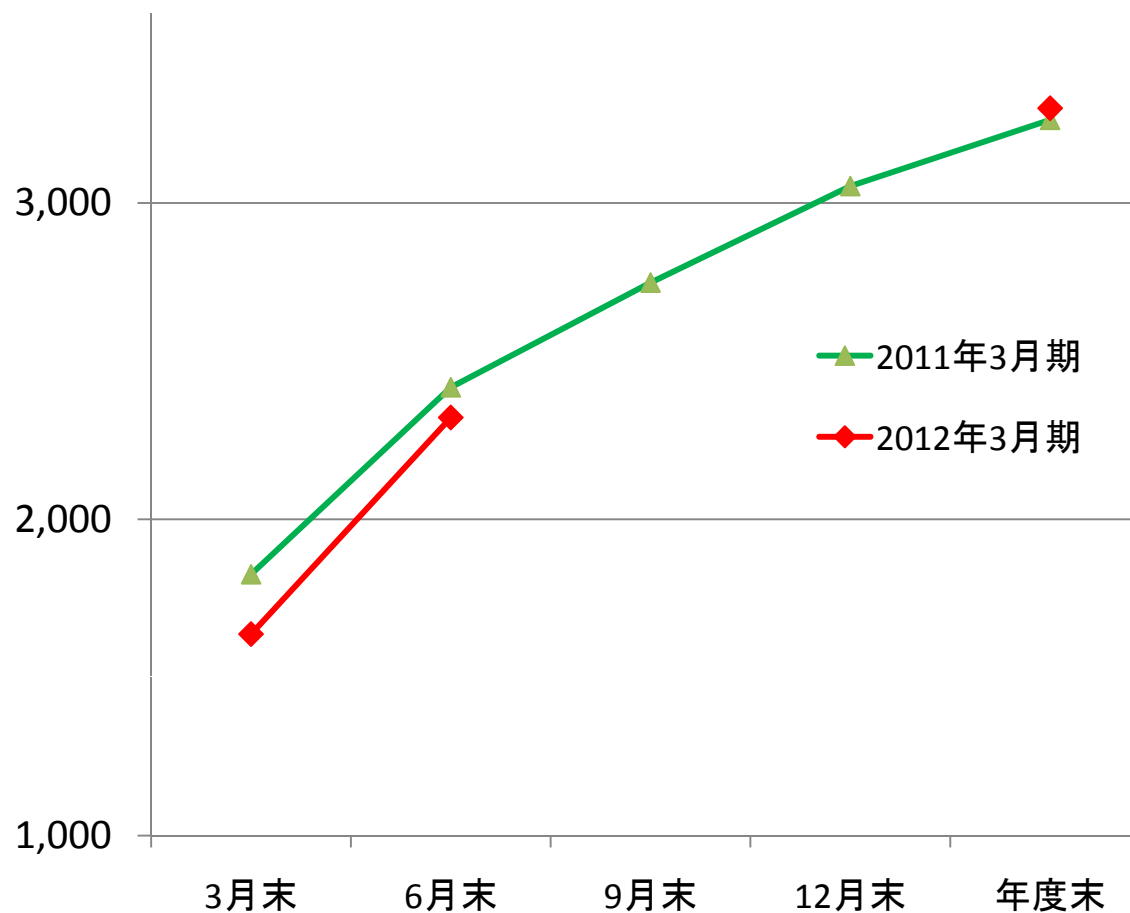


(出所) 日銀短観(2011年6月調査)企業に対するアンケート調査に基づく

# 売上高＋連結受注残高(うち期中分)








## ➤ 1Qの受注残高は、前年同期比で実質増加

受注残高(うち期中分)＋売上高累計額の推移



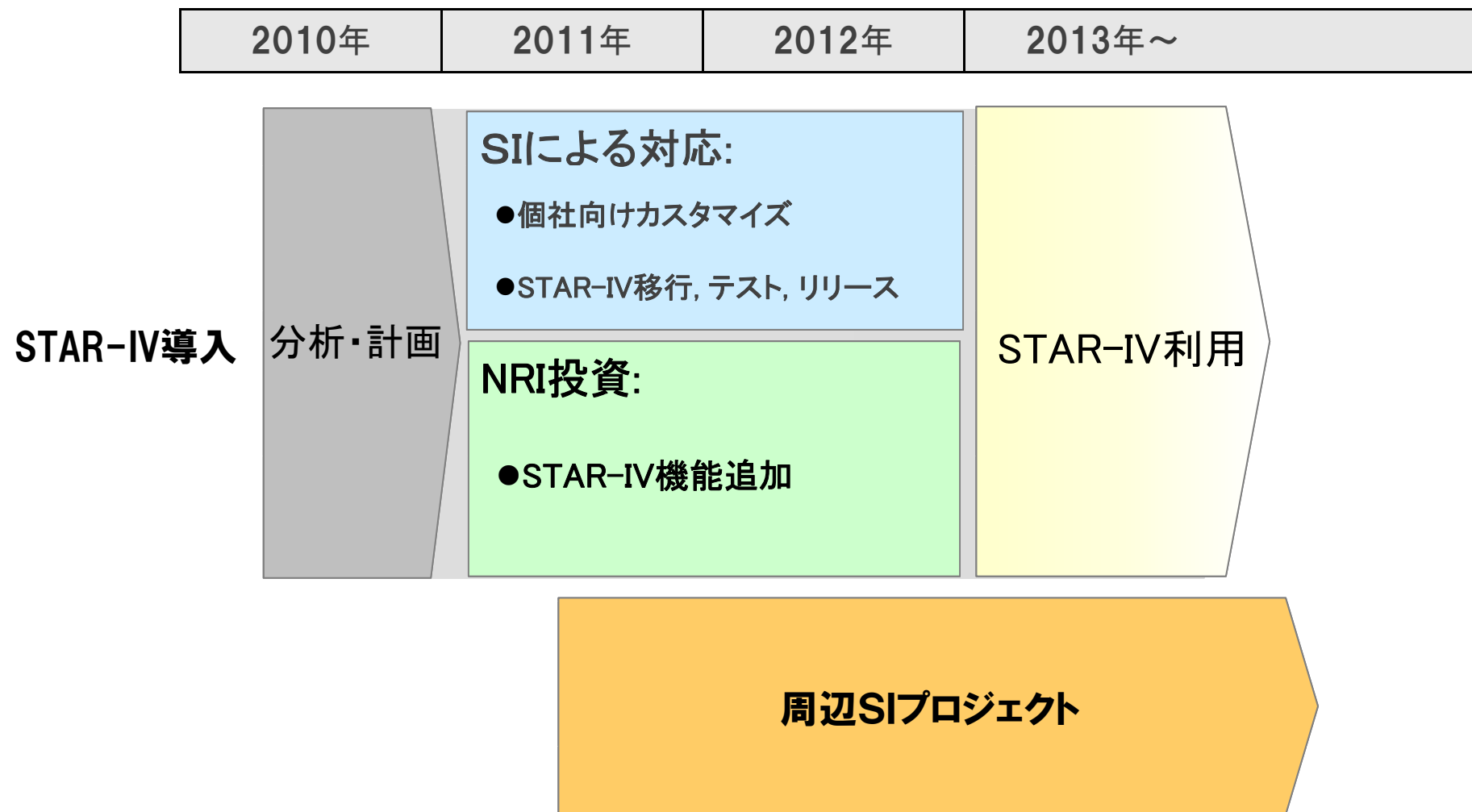
# 足元の状況

## ➤ 下期業績回復に向けさらなる営業努力による案件獲得を目指す 業種毎の足元の状況

コンサルティング		・前年同期比では改善しているものの、震災の影響で一部受注の遅れが生じる
金融ITソリューション		
証券業		・野村証券へのSTAR-IV導入は設計・開発を開始。2Qから生産活動増加を見込む STAR-IVへの投資も進み、証券業向けで稼働率が高まる
保険業		・既存大型顧客を中心に継続・追加案件獲得に向けた活動継続 ・業界再編の動きへの対応等による民間生損保拡大
銀行業		・インターネットバンキングシステム「Value Direct」の展開 ・アライアンスにより銀行勘定系サービスを拡大 ・信託銀行顧客の勘定系システムの刷新
その他金融業等		・資産運用系ASPは、①新規顧客獲得、新バージョンへの移行促進、 ②資産運用フロント・ミドル系サービス強化 ・BPO事業の推進
産業ITソリューション		
流通業		・主要顧客の投資需要(海外展開等)の獲得
製造・サービス業等		・コンシューマ・インダストリ(消費財製造業等)を中心に、新規顧客・新規案件の獲得努力を継続

# 最近の取り組み ～野村証券向けSTAR-IV導入プロジェクト

➤ SI、投資共に計画どおり進捗中。設計・開発は2Qから本格的に拡大

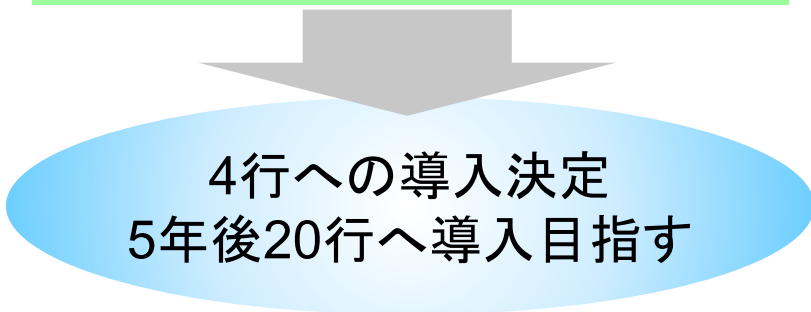
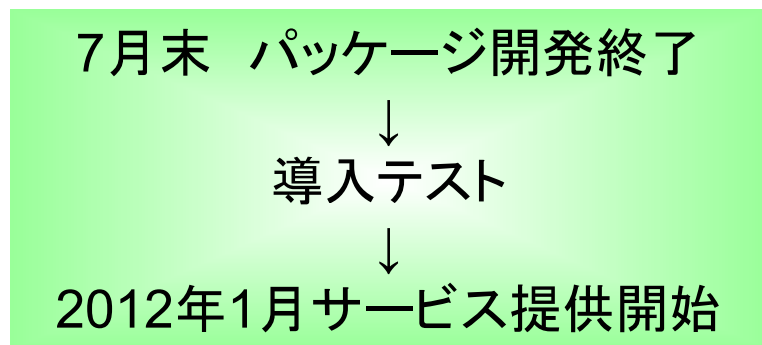


# 最近の取り組み ～共同利用型サービスの発展

- 銀行業向けインターネットバンキング共同運用ソリューション「Value Direct」を2012年1月より提供開始

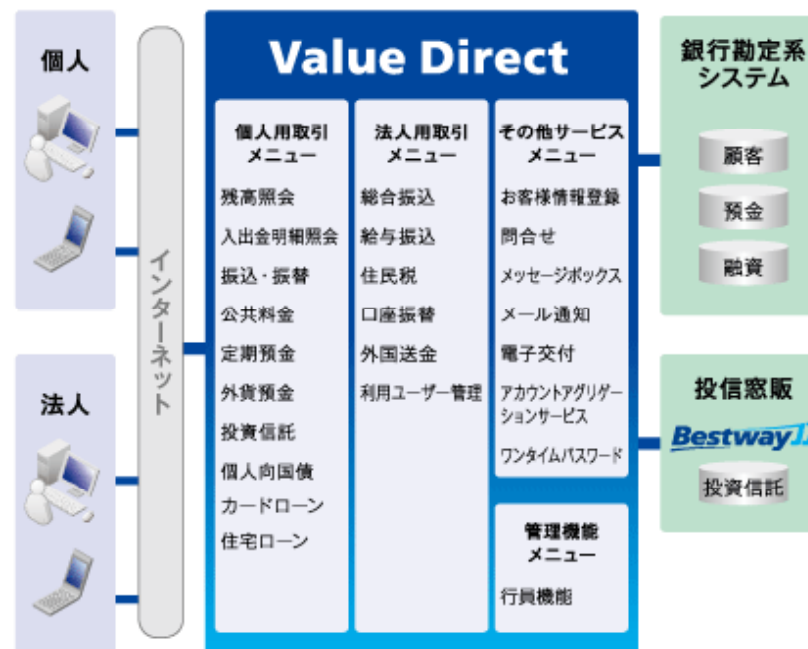
## Value Direct

インターネットバンキングサービス



## Value Directの全体イメージ

幅広い銀行業務をサポート



# 1Qまでの実績と、通期の業績見通し

## ➤ 1Qは通期業績予想の範囲内で推移

(億円)

		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2010年3月期	売上高	815	853	852	864	3,386
	営業利益	99	121	106	73	400
	営業利益率	12.2%	14.2%	12.5%	8.5%	11.8%
2011年3月期	売上高	806	814	798	843	3,263
	営業利益	65	94	110	114	384
	営業利益率	8.1%	11.6%	13.8%	13.5%	11.8%
2012年3月期 1Qは実績 2Q以降は予想	売上高	784	815	1,700		3,300
	営業利益	86	103	210		400
	営業利益率	11.0%	12.7%	12.4%		12.1%

(注)2012年3月期2Qの数字は、上期業績予想から1Q実績を差し引いた数字

(注)2012年3月期業績予想は、6/17発表のもの

## 2012年3月期 連結業績予想(6/17発表済)

- 関係会社株式売却益の発生、及び一部の保有株式の特別配当に伴い、6/17に当期純利益の業績予想を修正

【通期】

(億円)

	2011年3月期 通期(実績)	2012年3月期 通期(6/17予想)	2012年3月期 通期(4/27予想)	前回予想差
売上高	3,263	3,300	3,300	-
営業利益	384	400	400	-
営業利益率	11.8%	12.1%	12.1%	-
経常利益	400	415	415	-
当期純利益	231	315	240	+75



# 2012年3月期 セグメント別連結売上高予想

## ➤ 組織変更に伴い、セグメント別今期予想を組み換え

【通期】

(億円)

	2012年3月期 通期(7/27予想)	2012年3月期 通期(4/27予想)	前回予想差
コンサルティング	200	200	-
金融ITソリューション	1,995	2,060	△65
証券業	985	1,045	△60
保険業	560	560	-
銀行業	230	230	-
その他金融業等	220	225	△5
産業ITソリューション	900	860	+40
流通業	415	415	-
製造・サービス業等	485	445	+40
IT基盤サービス	120	95	+25
その他	85	85	-
<b>合 計</b>	<b>3,300</b>	<b>3,300</b>	<b>-</b>

- 
- ・本資料は、2012年3月期第1四半期決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではなく、また何らかの保証・約束をするものではありません。  
本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。
  - ・本資料のいかなる部分も一切の権利は野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。